



奉祝 天皇陛下御即位三十年

氷川神社
社報 第六号

武蔵一宮

氷川神社に営巣するオオタカ

主要祭儀一覧

月 日	祭 儀	内 容
1月1日	しほうはい 四方拝	早朝に天皇陛下が神嘉殿南庭で伊勢の神宮、山陵および四方の神々を御遙拝になる年中最初の行事
	さいたんさい 歳旦祭	早朝に三殿で行われる年始の祭典
1月3日	げんしさい 元始祭	年始に当たって皇位の大本と由来を祝い、国家国民の繁栄を三殿で祈られる祭典
1月4日	そうじはじめ 奏事始	掌典長が年始に当たって、伊勢の神宮および宮中の祭事のことを天皇陛下に申し上げる行事
1月7日	しやうわてんのうさい 昭和天皇祭	昭和天皇の崩御相当日に皇霊殿で行われる祭典(陵所においても祭典がある。)夜は御神楽がある。
1月30日	こうめいてんのうさい 孝明天皇例祭	孝明天皇の崩御相当日に皇霊殿で行われる祭典(陵所においても祭典がある。)
2月17日	きねんさい 祈年祭	三殿で行われる年穀豊穰祈願の祭典
春分の日	しゆんきこうれいさい 春季皇霊祭	春分の日に皇霊殿で行われる御先祖祭
	しゆんきしんでんさい 春季神殿祭	春分の日に神殿で行われる神恩感謝の祭典
4月3日	しんむてんのうさい 神武天皇祭	神武天皇の崩御相当日に皇霊殿で行われる祭典(陵所においても祭典がある。)
	こうれいでんみかぐら 皇霊殿御神楽	神武天皇祭の夜、特に御神楽を奉奏して神霊をなごめる祭典
6月16日	こうじゆんこうこうれいさい 香淳皇后例祭	香淳皇后の崩御相当日に皇霊殿で行われる祭典(陵所においても祭典がある。)
6月30日	よおり 節折	天皇陛下のために行われるお祓いの行事
	おほはらい 大祓	神嘉殿の前で、皇族をはじめ国民のために行われるお祓いの行事
7月30日	めいじてんのうさい 明治天皇例祭	明治天皇の崩御相当日に皇霊殿で行われる祭典(陵所においても祭典がある。)
秋分の日	しゆんきこうれいさい 秋季皇霊祭	秋分の日に皇霊殿で行われる御先祖祭
	しゆんきしんでんさい 秋季神殿祭	秋分の日に神殿で行われる神恩感謝の祭典
10月17日	かんなめさい 神嘗祭	賢所に新穀をお供えになる神恩感謝の祭典。この朝天皇陛下は神嘉殿において伊勢の神宮を御遙拝になる。
11月23日	にいなめさい 新嘗祭	天皇陛下が、神嘉殿において新穀を皇祖はじめ神々にお供えになって、神恩を感謝された後、陛下自らもお召し上がりになる祭典。宮中恒例祭典の中の最も重要なもの。天皇陛下自ら御栽培になった新穀もお供えになる。
12月中旬	かこにらみかぐら 賢所御神楽	夕刻から賢所に御神楽を奉奏して神霊をなごめる祭典
12月23日	てんちゆさい 天長祭	天皇陛下のお誕生日を祝して三殿で行われる祭典
12月25日	たいしやうてんのうさい 大正天皇例祭	大正天皇の崩御相当日に皇霊殿で行われる祭典(陵所においても祭典がある。)
12月31日	よおり 節折	天皇陛下のために行われるお祓いの行事
	おほはらい 大祓	神嘉殿の前で、皇族をはじめ国民のために行われるお祓いの行事

(宮内庁ホームページより)

奉祝 御即位三十年(二)

宮中祭祀

氷川参道の若葉がいよいよ色濃くなり、木陰が清々しい季節となりました。それは同時に例祭が近づいてきたという事でもあります。

明治元年に長くも明治天皇が当社で御親祭をあそばされ、その大御心が現在もなお続いており、毎年八月一日の例祭の折には勅使の参向を頂いております。例祭で勅使は御幣物を奉り祭文を奏上、東游の奉奏、玉串奉奠と厳肅な祭儀を終えると、直ちに勅使館より賢所に復命されます。今上陛下は、皇太子殿下の時代から、祭儀を大切

にされていらつしやいました。古くから伝えられる祭祀を忠実に受け継がれ、宮中三殿賢所、皇霊殿、神殿で行われる宮中祭祀を通して、常に国民の幸せを祈っておられます。戦前には憲法に明文化されていないものの、天皇大権の一つとして祭祀大権がございました。現行の憲法でも宮中祭祀は国事行為ではなく皇室の私事という位置づ

けでございますが、その内容はただひたすらに皇室の御祖先または神々への深謝と、国家の安泰、安寧、繁栄と国民の福祉、五穀の豊饒、世界の平和とをお願いになられる無私の尊い祈りであり、これ以上ない深い大御心の体現であります。

社頭往来

大宮剣道連盟形奉納

四月一日午後二時、正式参拝の後、楼門内舞殿にて大宮剣道連盟中村好一氏により形の奉納がございました。



鎮花祭

四月五日から七日午前十時、鎮花祭を執り行いました。三日間とも祭典中に舞殿にて氏子童女による花しづめの舞が奉奏されました。七日の大祭では特殊神饌として緑、紅、白の菱餅が桜を付して供えられ、正服を身

に着けた神職も冠に桜を付して祭典を奉仕致しました。



弓道大会

四月五日弓道大会が行われました。例年鎮花祭にあわせ、花祭り弓道大会として一般の部、学生の部にわかれ行われており

ます。本年の参加者は一般、学生あわせ約六百名でした。



大成神楽



四月七日境内の神楽殿にて大成三丁目神楽の奉納がございました。例年鎮花祭にあわせ奉納されており、本年は大人十名、子供八名により巫女舞や住吉三神、八雲神詠等が奉納されました。

埼玉縣護國神社例祭

四月九日午前十時、当社宮司が兼務の埼玉縣護國神社にて例祭を執り行いました。本年は献幣使に比企支部より萩日吉神社松岡崇宮司の御参向を頂きました。遺族会会員や県内神職など約千名御参列の中、厳肅に齋行致しました。



社頭往来

献詠祭

四月十五日午前九時半、献詠祭を執り行い「春風」を兼題に八雲会会員の和歌が奏上されました。

昭和祭

四月二十九日午前十時、昭和天皇の御遺徳を称え、益々の国家の隆昌と安寧を祈る昭和祭を執り行いました。



埼玉県茶道協会春の茶会

四月二十九日、埼玉県茶道協会による春の茶会が勅使齋館及

び呉竹荘にて開催されました。当日は約四百名の参加者で賑い、茶の湯を楽しみました。



祝子祭

五月五日午前十時、祝子祭を執り行いました。特殊神饌として子供達の益々の成長を祈願し筍をお供え致しました。



世話人研修旅行

五月七日、八日、十一日の三日間にわたり世話人研修旅行を実施致しました。本年は茨城県笠間市鎮座の笠間稲荷神社を正式参拝、三班合わせて百七十名の御参加を頂きました。



御鎮座祭

五月九日午前十時、氷川の神が当地にお鎮まりになられた日を寿ぎ、変わらぬ御神威の発揚を祈願し御鎮座祭を執り行いました。

奉納小笠原流躰目之儀・百手式

五月十二日、弓馬術礼法小笠原流三十一世宗家小笠原清忠氏御見分のもと躰目之儀を小笠原流教場理事長小笠原清基氏が御奉仕、また百手式を埼玉菱友会会員約三十名が奉納されました。



献詠祭

五月十五日午前九時半、献詠祭を執り行い「流鏝馬」を兼題に八雲会会員の和歌が奏上されました。

裏千家献茶式

五月二十日午前十時、裏千家淡交会埼玉県支部による献茶式が執り行われました。当社境内の御神水で湯を沸かし、家元御名代伊住公一朗宗匠の御奉仕にて神前に濃茶、薄茶が奉納されました。



道饗祭

五月二十一日午前十時、疫病

が流行するのを未然に防ぎ止めるよう祈願する道饗祭みちあえさいを斎行致しました。本殿祭の後、境内の神楽殿にて齋場祭を行いました。



無外流日心会奉納演武



五月二十七日午後二時、正式参拝の後、舞殿にて無外流日心会の奉納演武がございました。

敬神婦人会研修旅行

六月四日、敬神婦人会の会員四十一名参加のもと、春の研修旅行が行われました。本年は千葉県鴨川市鎮座の天津神明宮に正式参拝致しました。



粽神事

六月五日午前十時、特殊神饌で粽をお供えする粽神事を執り行いました。旧暦端午の節句に行っていた為、粽をお供えしております。

神社検定

六月十日、一般財団法人日本文化興隆財団主催、神社本庁監修の第七回神社検定が全国で実施されました。埼玉県では神社庁と当社社務所が検定会場となりました。



さいたま市職場体験

六月十一日から十三日までさいたま市中学生職場体験事業「未来くるワーク体験」で桜木中学校の生徒四名を受け入れました。境内清掃や御札の授与の他、最終日には舞殿にて豊栄の舞を奉奏頂きました。



献詠祭



六月十五日午前十時、献詠祭を執り行い「初夏」を兼題として八雲会会員の和歌が奏上されました。

祭祀舞研修会

六月十八日、十九日の二日間、新採用の出仕補を中心に祭祀舞研修会を開催致しました。講師に静岡市鎮座翁稻荷神社宮司の牧田明子先生をお招きし、「浦安の舞」、「豊栄の舞」の研修を行いました。どちらの舞も正式参拝、秋の観月雅楽演奏会等で奉奏致します。



神社関係者大会

六月二十二日、第三十九回神社関係者大会が三郷市文化会館で開催され、本年は当社より氏子総代副会長の新藤享弘氏が表彰を受けられました。



明倫無外流形山会居合術奉納演武



六月二十四日午後一時半、明倫無外流形山会による居合術の奉納演武がございました。内藤寛会長他九名にて居合形や組居合演武が奉納されました。

書元会書道廻廊展示

大祓式に合わせ六月二十八日から七月一日まで、書元会による書道の廻廊展示が行われました。今回は小学一年生から中学三年生までの会員の作品で「もり」、「ねがい」、「ふですみ」、「手をうつ」、「美しい字」、「神社の池」、「並木参道」、「神話伝説」が兼題となりました。



草月流生け花奉納

六月二十八日から七月二日まで舞殿にて草月流長内恵氏により生け花の奉納がございました。



夏越大祓



六月三十日午後二時、半年間の罪穢れを祓う大祓式を斎行致しました。六月の大祓式は夏越の大祓ともいわれ、茅の輪をくぐって災厄を祓う事から輪くぐりの神事ともいわれます。本年の茅の輪は六月二十三日より七月一日まで設置され、期間限定で茅の輪守が頒布されました。

正式参拝及び諸会議

四月

- 一日 大宮剣道連盟
- 八日 武蔵菊花会菊作り研修会
- 十二日 北足立郡市総代会
- 十五日 大國魂神社京所青年会
- 十六日 茨城県神社庁新治支部
- 十九日 敬神婦人会役員会
- 二十三日 埼玉県神道青年会総会
- 二十六日 敬神婦人会総会

(敬称略)

五月

- 六日 鎮花祭茶話会
- 十二日 小笠原流弓道
- 十三日 武蔵菊花会菊作り研修会
- 十三日 氷川ホテルの会清掃奉仕
- 二十日 速谷神社(広島県)
- 二十一日 氷川雅楽会総会
- 二十五日 解脱会
- 二十五日 大宮新能
- 二十五日 氷川神社並びに敬神講社監査会
- 二十六日 大宮新能
- 二十七日 無外流日心会
- 二十七日 氏子青年会総会

六月

- 二十八日 責任役員会、敬神講社理事会、氏子総代会並評議員会
- 一日 敬神婦人会役員会
- 五日 和光いきがい大学
- 十日 龍音シンキングボウル演奏
- 十日 家 伊藤てんごく
- 十日 武蔵菊花会菊作り研修会
- 十一日 院友神職会役員会
- 十三日 東京都神社庁葛飾支部・葛飾区神社総代会
- 十三日 和楽備神社総代会
- 十三日 新潟県神社庁西頸城支部
- 十七日 諏訪奉賛会
- 十八日 祭祀舞研修会
- 十九日 祭祀舞研修会
- 十九日 埼玉県神道婦人会
- 二十四日 解脱会上呂支部
- 二十四日 明倫無外流形山会
- 二十五日 氏子総代会並評議員会
- 二十七日 岩手県神社庁紫波支部
- 二十九日 毎日興業株式会社



敬神婦人会湯茶接遇活動日
4/2、4/5、5/1、5/15、6/1

社務所前駐車場整備

この度社務所前の駐車場の整備が完了し、二十二台の駐車が可能になりました。



明治天皇御親祭百五十年大祭奉祝記念碑建立記念事業

六月十五日、境内の巫女神楽殿解体にあたり清祓式を執り行いました。整地した後、明治天皇御親祭百五十年大祭を奉祝する記念碑を建立致します。



氷川参道の変遷と今



参道のツミ

氷川参道は参詣者のみならず市民の財産であり憩いの場所です。また、さまざまな生き物を育む場所でもあります。



緑の帯のような氷川参道は大宮のシンボルとなっており、しかし時代により参道の樹種は変化しております。昭和初期に作られた「大宮をどり」に「並木十八丁鉾杉続き」と歌われた鬱蒼とした杉並木は昭和の中頃までありました。それ以前は渡辺華山が『毛武遊記』で「武州一の宮神は氷川大明神松のはやし道をつつみて、天もわかたぬほど思うしげり、宮居迄凡十八町あまりなるとぞ。」と記す松林

でした。現在の参道の樹勢状況は平成二十二年に作成された『氷川参道のまちづくり』によると、およそ650本の高木があり、そのうちケヤキが約65%、次いでスダジイが約10%、そのほかクスノキ、エノキ、サクラなど37種類の樹木で構成されています。そのうち20本が市の天然記念物として文化財指定され、また市の保存緑地指定を受けております。



一の鳥居(明治末から大正)



二の鳥居付近(大正頃)



平成ひろば(大正元年頃)

氷川参道歴史散策案内板を設置

此度、参道に氷川参道歴史散策案内板を一の鳥居、参道交番、平成ひろばの三カ所に設置致しまして、氏子崇敬者の皆様始め市民の皆様に参加の今昔を御紹介しておりますので御覧下さい。

四月から六月の

参道清掃団体

(五十音順、敬称略)

参道の清掃活動を頂きました皆様の御芳名を御紹介し、謹んで御篤志に感謝申し上げます。参道清掃のお申し出、お問い合わせは社務所までお願い致します。

- ・ 明るい社会作りの会
- ・ 阿含宗埼玉道場
- ・ 高鼻町二丁目自治会友の会
- ・ 毎日興業株式会社
- ・ みずほ証券株式会社
- ・ 武蔵コーポレーション株式会社

神主さんと神社を学ぼう！

四月八日、午前九時半から午後四時まで境内にて埼玉県神社庁主催の教化事業「神主さんと神社を学ぼう」が行われました。当社神職による境内案内の他、教化委員や神道婦人会、神道青年会の県内神職約三十名が案内や説明を担当し、巫女神楽殿でヤマタノオロチやヤマトタケルの「神話講談」、本殿西の仮設待合所で「氏神検索コーナー」と「御朱印展(三月十六日～四月十七日)」、社務所では「御朱印帳作り」の他、「神話カレンダー原画展」や「神社検定PRコーナー」、神社や神道に関する書籍販売、宮善商店の神棚展示が行われました。神楽殿では、八幡大神道の神代里神楽「恵比寿座」、「稻荷座」、國學院大学の雅楽同好会である青葉雅楽会により雅楽や神楽舞が奉奏されました。また埼玉県神社庁、クラブツールリズム共催事業として神社庁武田淳主事の「神道入門講座」、クラブツールリズムナビゲーターの長谷川隆氏による「神社と街道」、稲用章氏による「神社と古代史」も実施、約三万人の人数で盛況裡に終了致しました。



境内案内



神話講談



里神楽

四月七日、八日同時開催



氷川マルシェ
～大宮グルメ～



神社庁武田主事講演



朱印帳づくり



さんきゅう参道2018
～市民型マーケット～



埼玉県の御朱印展



第三十七回大宮新能

大宮新能は公益社団法人さいたま観光国際協会主催で、例年五月の最終週の金曜、土曜に開催されており、昭和五十七年の東北・上越新幹線の開業を記念して始まり本年度で三十七回目を数えました。今回も金春、観世、宝生のシテ方演者と狂言には和泉流と大蔵流の二流派を迎え、五月二十五日、二十六日の二日間にわたり開催されました。三の鳥居く神橋間の椎の木前に特設の舞台を設え、その前にかがり火がたかれる幻想的な状況での大宮新能は国内屈指の新能と高い評価を得ております。

五月二十五日(金)

素謡【金春流】 翁 金春安明

能【観世流】 胡蝶 藤波重彦

狂言【大蔵流】 仏師 善竹十郎

能【金春流】 土蜘蛛 本田芳樹

五月二十六日(土)

素謡【金春流】 翁 金春憲和

能【宝生流】 花月 藤井雅之

狂言【和泉流】 鐘の音 野村万作

能【金春流】 葵上 金春安明



「修祓式」



「土蜘蛛」シテ：本田芳樹様
(写真協力：公益社団法人さいたま観光国際協会)

第四回 氷川はたる鑑賞会

五月十三日、氷川はたるの社会員により蛇の池から神池に通じる水路の清掃が行われました。六月八日、九日の二日間にわたり同会主催の蛍観賞会が蛇の池周辺で開催され、参道では氷川マルシェが開催されました。二日間で約二万人の方に御鑑賞頂きました。



西駐車場にて



氷川マルシェ



水路清掃活動

七五三詣の御祈禱の際には
以下の物をお渡しいたします。

初穂料一万円お納めの方

お納札(大)に名前が入ります。

初穂料五千円お納めの方

お納札(小)には氏名が入ります。



お納札(大)・千両型・御守・お守紙・御朱・福袋・御礼状

お納札(小)・千両型・御守・お守紙・御朱・福袋

三万円以上お納めの方は、御札が特大御納札(長巻入り)になり、お納札の他に、御守カレンダー・御朱紙・福袋(福庫、お守、福袋)・御守立御守がつきます。

九月一日から事前準備分終了まで

氷川神社の十五三

武蔵一宮氷川神社での貸衣装・お着付け・写真撮影がセットになったお得なパックができました！

10月→6,21,27
11月→3,4,10,11,14,15,17,18

ご希望の方は 048-643-7360(本陣定休)までお電話下さい

婚礼展示会のお知らせ

下記の日程で婚礼展示会を開催致します。是非、おそろいでお出かけください。

心よりお待ち申し上げます。

記

- 一、日時 平成30年8月26日(日) 13時～16時
- 一、会場 氷川神社 呉竹荘
- 一、予約、会費 不要

四月の奉納献華



池坊	草谷智花	草月流	竹下尚峰
桂古流	小林華侑	正風流一光会	桐生一光
古流松藤会	川嶋理智		
草月流	沖山草俊		
桂古流	高橋典花		

五月の奉納献華



古流松藤会	岩波理豊	草月流	沖山草俊
池坊	草谷智花	桂古流	高橋典花
桂古流	小林華侑	草月流	竹下尚峰
古流松藤会	川嶋理智	正風流一光会	桐生一光
		春草流	栗原春彩

六月の奉納献華



古流松藤会	岩波理豊	正風流一光会	桐生一光
池坊	草谷智花	春草流	栗原春彩
桂古流	小林華侑		
古流松藤会	川嶋理智		
桂古流	高橋典花		
草月流	竹下尚峰		



有限会社大成造園様より牡丹の奉納を頂きました。御篤志に感謝致します。

第七号は10月15日発行予定です

発行 平成30年7月15日 発行所 氷川神社社務所

写真協力 宮野信昭 中村写真館 柳田富男 印刷所 株式会社 秀飯舎

さいたま市大宮区高鼻町1-407 電話 048-641-0137 <http://www.musashuichinomiya-hikawa.or.jp/>